



## 結果

道路区画線診断システム「ROAD VIEWER」を活用したことにより、現地調査と調査資料写真撮影を同時に行え、解析結果をデータ抽出できるので、資料作成にあっても時間短縮が実現できる。  
従来方法と比較すると、調査開始から資料作成まで20日程度要していたのが、4日に短縮することができた。  
これにより、時間短縮・人件費削減・塗替え作業の早期実施が見込まれる。

## 剥離率判断結果データ



## 考察及びまとめ

例年、調査資料提出まで時間がかかり、未施工期間もある為、このシステムを活用し、早期に施工へと移行できるものとする。

## あとがき

このシステムは現地調査を時間短縮できるものであるが、調査する工種が限られること（実線・破線のみ）や、GPSによるデータ習得の為、トンネルなどGPSが届かない箇所では、目視による調査も必要になるので、すべてを網羅するのは難しいと思われる。